

福祉情報誌

暮らしに役立つ、ちょっとわくわくすることがある、そんな情報を贈ります。

令和2年4月14日(毎週火曜日)増刊 AJU通巻13822号

昭和54年8月1日低料第三種郵便物承認

発行所/東海身体障害者団体定期刊行物発行協会
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター4F

AJU自立の家

第165号

2020年4月20日号

定価250円

編集/社会福祉法人AJU自立の家
福祉情報誌発行委員会
発行/AJU車いすセンター
わだちコンピュータハウス
連絡先/〒466-0025
名古屋市昭和区下横町 1-3-3
わだちコンピュータハウス内
TEL(052)841-9888
FAX(052)841-3788
E-mail: f-joho@aju-cil.com

テーマ

新しい風

書 高橋 誠



絵 川口いづみ

はじめの一步をふみだしたあなたへ

- 特集：進学おめでとう！
大学生活1年を振り返って 1
高校生活を振り返って 4
- 新しい風1号！
編集委員に加えていただきました！ 8
- あした天気になあれ 9
とにかくどちらもよく見える？
- かつきのページ 11
- 旅の空から 12
- トラベル情報 15
新緑の季節！ドラマの舞台・岐阜へ！
富士芝桜まつり
(山梨県/富士河口湖町)
世界遺産リゾート里創人
～熊野倶楽部～
他
- 福祉用具のリサイクル情報 18
- 読者のこえ・いろいろ情報 19

他

大学生活1年を振り返って

みなさんこんにちは。柳原康来（やなぎはら こうき）、32歳です。日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 人間福祉専修の2年に在籍しています。出身は岐阜県岐南町ですが、現在は知多郡美浜町で一人暮らしをしながら大学生活を送っています。今回は私の大学生活の一部を紹介したいと思います。

私は、約5年半前から自立生活を送っています。脳性麻痺という身体障害があり、首から下が思うように動かさません。食事・排泄・入浴・移乗といった日常生活に、ヘルパーさんが不可欠です。自立生活を始める時はすごく不安でしたがいろいろな人にサポートしてもらいながら自立生活を続けています。趣味は音楽鑑賞、LIVEに行くこと！（Play. GooseとSKY-HI）です。



なぜ大学へ行ったのか

私がなぜ大学に入学したのかというと、一言でいえば「福祉」をもっと学んでみたい！知識と仲間を求めたい！が理由です。本当は、特別支援学校の高等部を卒業後、すぐに進学を考えていたのですが、進路指導の先生から「あなたは重度な障害があるのだから、通うことも下宿することも難しい。大学生活を送ることが難しいのだからやめておきなさい」と言われてしまいました。今考えれば、この発言は障害者差別です。その発言がきっかけで進路が決まらないままの卒業、2年間のひきこもり生活をするようになりました。

しかし、その経験があったからこそ、この年になって、本当にやりたいことを実現するための手段として、大学での学びを選ぶことができました。本当にやりたいこととは、地元である岐阜県岐南町に障害者団体を設立することです。そうすることで、私のように障害があるなど生きづらさを感じている人が、自分らしい生活をするためのお手伝いができるのではないかと、それが自分の役割ではないかと考えたからです。

なぜ日本福祉大学だったかというと、岐阜で活動していくためには、地元と同等もしくはそれ以上に福祉が行き届いていないところで生活しながら学んだほうが、将来、地元

に戻った時にこの経験が役立つのではないかと考えたからです。そのための家探しやヘルパーさんの支給量交渉を、引っ越す約1年前から行いました。

家は、不動産会社の人はもちろん、美浜町にいる知り合いの方にも手伝ってもらい、今住んでいる部屋を見つけることができました。住民票も美浜町に移して、今では美浜町民として生活しています。美浜町で24時間のヘルパー利用者は私が初めてだったので、福祉課からは「町の財政的に厳しい」と言われました。しかし、24時間の支給量を出してもらわないと生活することができないという状況を、AJUの職員と一緒に伝え、知多半島・美浜町初の24時間支給を勝ち取りました。

不安がいっぱいの大学生活

大学生活を始めるにあたってたくさんの不安がありました。勉強のこと、お金のこと、介助のこと、人間関係のことなどです。その不安を解消するために、大学に行ったことのある障害当事者の先輩や大学の先輩、先生方などに相談した

ところ、親身になって話を聞いてくれて、1つずつ一緒に解決していききました。その中の2つを紹介します。

1つ目は学費です。福祉ホームサマリアハウス時代から貯めていた貯蓄があるとはいえ、4年間の学費を払い続



けるのは経済的に難しい状況でした。しかし、AJU 後援会から出していただいている奨学金のおかげで、大学生活を送ることができています。

2つ目は、入学試験への配慮です。私は「社会人入試」という枠で受験しました。介助者の同行や排泄・食事などの日常的な介助が必要なことを伝えて、入試の時にこれらを認めてもらいました。大学側も、どうすればやりやすいか、他にどのようなやり方があるかなどを一緒に考えてくれました。

入学前だけではなく、入学後の授業介助や学習支援にも配慮がありました。授業介助としては、ボランティア学生が隣について教材の準備や片付け、水分補給などを手伝ってもらっています。その他にも週に2回、レポートの書き方や課題の整理を、介助込みの学習支援という形で手伝ってくれています。試験に関しても、問題の拡大印刷、パソコンを使っただけの回答、介助者付きの受験を、学生側から申請することで認めてもらっています。もちろん申請方法や先生とのやり取りを、先輩や職員さんが一緒に関わってくれるので安心です。

大学が行っている合理的配慮としては、介助ボランティアとのマッチング会の開催、UD トークやパソコンテイク*などを使った情報保障、学生の声をもとにした大学内のバリアフリー整備などです。



*パソコンテイク
先生が話した内容を要約しながら文章にしてパソコンに入力していくもの

驚きいっぱいの大学生活

大学生活をはじめてみることで、新しい発見がいっぱいでした。1つ目に人が多いという点です。日本福祉大学は約6000人の学生が在籍していて、私が所属している社会福祉学部は約1700人にもなります。同学部の1年生だけでも400人を超えています。

2つ目にサークル活動の多さがあります。スポーツ系、文化系など様々なサークルが、各々で楽しい活動を繰り広げています。その数なんと約100種類!!!!!!その中で、私は2つのサークルに所

属しています。「ヘルパーサークル CHANGE」と「アンリミテッド」です。

CHANGE は理念である「自分を変える・大学を変える・社会を変える」を掲げていて、障害がある人ない人関係なく、誰もが楽しく生活できることを目指しています。メンバーで話し合い、月一企画を立てる、大学祭に出店してのアピールもしています。学部や障害の有無を越えた関わりがもてるサークルです。

アンリミテッドは、「農福連携」をテーマに活動しています。「農福連携」とは、福祉の分野で農業を取り入れて、お互いの分野を活性化していくことです。主な活動として、美浜町に住んでいる方から畑を借りて、野菜を育てています。種まきや苗つけ、収穫を、放課後等デイサービスに通う障害のある子どもたちと一緒にしています。収穫した野菜で料理をして、みんなで BBQ をするというも行っています。

入学して最初のイベント

4月下旬に、社会福祉学部独自のイベントとして、 春季セミナーというのがありました。春季セミナーとは、大学生活に慣れていない新入生に対して、友達づくりとこれから学ぶ福祉の取り組みを、地域の方のお話やまち歩きなどを通して体験する宿泊プログラムのことです。

前年度は滋賀県の長浜市に行き、福祉分野で活躍されている卒業生を招いての座談会と、4～5人のグループに分かれてのまち歩きをしました。私たちのグループは、バリアフリー調査がテーマでした。まち歩きをしてみて感じたことや、こうすれば使いやすいのではないかという意見を、学校新聞のような形でまとめて現地の関係者に報告しました。そのなかで、相手に伝わりやすい表現、レイアウトや文字サイズを仲間と考える、担当ごとに役割を分けて取り組むといったことを行いました。最初は話しかけることもできなくて仲良くなれるか不安だったけれど、その作業中に仲良くなりました。

先生いないけどみんなでSDGs

去年の10月27日には「DREAM FES」というイベントに総合演習（ゼミナール）という授業のクラス全員の20名が参加しました。

SDGs（エスディーゼーズ）という世界各地で取り組んでいる、国連で決められた、地球にこれからもずっと住むための17の目標づくりと169の課題を、一般市民のみなさんに知ってもらうことをテーマに活動を行いました。

私たちのブースでは、身体障害者（特に車いすユーザー）の福祉を知ってもらうために、車いす体験、ペギーボール体験（発達障害児のスポーツ指導から誕生）、名古屋市内の障害者団体へのインタビュー記事をブース内展示しました。



参加者の多くは、子ども連れの家族層や高齢者で、障害がある人と関わりが少ないと思われる人たちでした。車いす体験をしてくれた方からは、「これから高齢になるにつれて、車いすの利用も考えなければならない年齢になってきた。勉強になった。」といった感想をいただきました。

当日は、担当の先生が他の用事で来ることができないというアクシデントもありましたが、メンバー同士が助け合い、無事イベントを終えることができました。私自身、仲間と協力することでイベント運営により一層自信をもつことができました。

失敗も大切な経験

大学生活を1年送るなかで、いろいろな失敗もしました。友達と夜中まで電話をしていて授業に遅刻しそうになったり、ノリと勢いでカラオケオールをした後にレポート作成をして、大変な目にあったりなど、数え始めるときりがないほど！

しかし、大学生活は、こういった失敗も含めて自分の責任。授業をしっかり受けないと、単位がもらえずに卒業できないということも考えられます。そういった失敗をすることは、ダメな事なのかもしれません。しかし、その失敗を乗り越える、同じ失敗をしないことが、大人になる第一歩ではないかと感じています。

そんな失敗を繰り返しながら、好きなように自分のやりたいことを考えることが、大学生活を充実させるのではないかと感じています。大変なことも楽しいこともあるけれど、それを自分で決めて友達と一緒に楽しめるのは、大学生活だからこその特権だなあと感じます。

新年度に向けて

大学生活1年目で、多くの学びと仲間を得ることができました。入学前はテレビのニュースで知っていた社会問題も、授業を通して、何が問題なのか、どのように対応していくべきなのか、私自身にできることは何かなど、多くのことを考えるきっかけになりました。それを友達やサークルで共有して、個人では難しいことも、どうすればよい方向に変えていくことができるかといった議論をしています。

2年目は、より一層専門的な分野の授業が多くなってくるので、気を引き締めて今年度も楽しく学んでいきます！！サークルやボランティア活動を増やして、いろんな人との出会い（運命の...）も増やしていきたいです。



高校生活を振り返って

こんにちは。久野藍里（ひさの あいり）です。

脳性麻痺で重度の障害があるため、電動車いすを使って生活をしています。

この春から大学生になります。大学生活と一人暮らしにもワクワクしています。



高校に入るまで

小学校は、地元の小学校では受け入れが難しく、学区外の肢体不自由児学級がある普通学校を勧められ、地元で学ぶことを諦め、6年間そこに通いました。高学年に上がるにつれて、勉強をあまりしない環境に疑問を抱くようになって、「なんで、分けられた小さな空間に、私はいるんだろう？もっとみんなと同じように勉強がしたい」と思うようになりました。

当然のことながら、地域の友達も全くいません。私は、「こんな小さな空間はいやだ。もっと外に出て、自分の知らない世界を見てみたい」と思うようになりました。

地域の中学校に通うことを母に相談して、母も私の気持ちを優先させてくれて、地域の中学校の普通学級に3年間在籍しました。中学校に通っていて思ったことは、小学校からの積み上げがないので、漢字やその他諸々の勉強についていくのが大変だということ。中学校の時に、友達が3人ほどできて、いい先生にも出会えました。勉強したいという気持ちは増すばかりでした。

中学校でさえ、自分の知らない世界に飛び込んだのだから、高校という学びの場に自分で入っていきたいと思って、普通の高校に行こうと思いました。

「高校を受験し、絶対合格する」という気持ちで頑張りましたが、不合格でした。学力不足もあったかもしれないけれど、私のような重度障害を持っている人が入った前例がないということで、学校の中の支援体制が整っていなかったため、入れませんでした。そこを切り開いていくのに、2年間

かかりました。

名古屋市立の学校では、学校生活介助アシスタントという制度があるのですが、当時は幼稚園、小・中学校までしか使うことができませんでしたので、その枠を高校まで広げてほしいと声を上げ続けました。

一方で、聴講生の制度を校長先生が認めてくださったので、受験勉強もしながら、2年続けて聴講生として通いました。

高校生活…毎日がキラキラ

高校では、部活やいろんなことをやりました。最初は、生徒会に立候補して副会長に就任、1年間やりました。パソコンでポスターを作成するなど、役割を与えてもらいました。

その1年間が終わったときに、本当にやりたいことはできているかな？と思い、高校ではじめて部活に入りました。高校の部活は強制的ではなく、自分で選択できて、定時制の高校だったから時間が短い。自分のペースでできそうだと思って、歌うことが好きだったので、3年生から合唱部に入部しました。

部活は、とても楽しかったです。部員が自然に助けてくれたり、私を中心にして、部活が成り立っているような状況があって、いつも、私の意見を取り入れて、みんなで決めるということが、ごく自然にできていました。

私が通う高校は、不登校の生徒やメンタルに事情を抱えた生徒が多いので、人に寄り添うことができる生徒が多いです。障害があることは知って



いるけれど、そんなのは気にしないというような風潮が、学校全体で流れています。

部活の子が、私のことを「先輩」と呼んでくれたときに、本当は、それは当たり前のことかもしれないけれど、「先輩」って呼ばれている自分がうれしかったです。部員が女の子ばかりだから、本当に楽しくて、顧問の先生もあまり手を出さないようにしてくださって、「部活では、あなたが引っ張って行きなさい」と言ってくれました。極力自由に部員たちといられるような環境作りを自然にしてくれていたの、いつも「先輩」と言って頼ってくれました。そんな後輩が、かわいくて仕方ありませんでした。

友達と一緒に昼食を食べたり、ランチに行っておしゃべり、ショッピングしたりしました。部活でも交友関係ができて、毎日がキラキラしていました。

障害のある人はキーパーソン

障害のある人は社会を変えたり、その場所の環境や考え方を考えることができる、非常にいいキーパーソンだと思う。

「高校は勉強をするところだから、こんな人が来て何をやるの？」と思うかもしれないが、社会や学校を変えることができる人材として、座学以外のところで、学生や学校がその人と一緒に過ごす中で、教育される学校である方がいいと思う。

近い将来の話をする、例えば、高校の学びの中に『障害学』というのを入れて、障害に対する理解を深める授業を取り入れて、そのキーパーソンとして、いろんな障害のある人から学ぶ機会を作っていくのもいいんじゃないかと思う。どうしても、会話ができないとか、知的に障害があると、社会としては、この人は価値のない人と見がちだが、そうではないという授業の展開をしていくべきだと思う。

本来は、みんなが必要とされなければならない社会。支援学校とか色々あるけど、支援学校が悪いとかということではなくて、みんなが尊重される社会ではない。みんなが尊重される社会というのは、いつ実現できるのか、そこに注目していきたい。インクルーシブ教育ということが叫ばれ、地域の学校を選択できるようになりつつあるが、まだまだ足りない。

社会創りは難しい。

藍里が思うこと



勉強をするということを実感

高校に入ったときに、決めたことがありました。勉強は、小学校とか中学校で遅れている部分があるから、人一倍頑張ろう。1つでもいいから、好きな教科を見つけようと決めました。古典とか英語など、様々な教科が好きになりました。

高校浪人したことに後悔はしていなくて、その2年間で勉強の補充ができたと思っています。勉強の補充がなければ、大学に進学することさえできなかったと思います。浪人は自分の学力を上げるいい機会だったと思っています。

高校に入って、勉強を頑張ろうという日々がスタートしました。

テストの時間は、みんなと同じ45分間。選択問題にしてもらったり、問題数を減らしてもらったり、別室で喋ったことを監督の先生が代筆するという配慮の中で受けていました。最初は、その45分が『勝負の45分間』で、テスト当日の朝になると、「絶対に1教科でもいいから点数を高く出すぞ」みたいに思って、逆にそのプレッシャーから気分が悪くなることがありました。

45分間の勝負を終えて、結果が予想よりもいい点数だと、大きな喜びと、「次はもっといい点数を出すぞ」という気持ちになります。それが、勉強の向上に繋がっていました。勉強をするって、こういうことなんだと実感しました。

びっくりするくらい、平均点を超えることもありました。「私、こんなにも勉強できるんだ」という驚きと、感動が一気に来て、「わーい、また頑張ろう！」と思いました。宿題も、夜中の11～12時まで、毎日コツコツ欠かさずやっていました。その頑張りは、先生たちにも通じました。テストで頑張ったということもありますが、頑張りを先生が見ていて、評価をしてくださいました。



体育も一緒に参加

体育は、TT（チーム・ティーチング）で、メインの先生と専属で、私につく先生各1人という

やり方で、卓球やバドミントン、バレーにサッカー
をやりました。



みんなとは分かれて行うときは、
やり方を一緒に考えながら、
工夫をしてくださいました。
例えば、バレーはソフトボ
ールを使いました。バドミントンは
ラケットを改造しました。サッカー

は車椅子サッカーを参考にして、先生がガードを
ダンボールで作り、私の車いすに取り付けてくれ
ました。

みんなに混じって行うときは、例えば卓球はラ
ケットに玉を当てることができたら加点する。バ
レーのときは、私が打ちやすいように周囲の生徒
がボールを投げるなど、特別ルールを作ってい
だいて参加したり。個別でやる時も、同じ空間
の中にいました。

中学校の時は、体育の評価は、できないとい
うことをベースに見られてしまうから、評価基準
が低くなっていましたが、高校では、授業に向かう
姿勢や努力する姿を認めた数字の評価になってい
ました。

人は人として尊重されるべき

どんなに重い障害があっても、人は人とし
て尊重されるべきだと思っている。誰かがい
いとか、誰かが悪いとか、「この道に行けた
子はいいけど、うちの子は行けないから…
あーあ」ではなくて、人は人として、これか
ら尊重される社会になっていかないと、だめ
なんじゃないか。結局、日本の社会というも
のが、そういう見方をしていると思う。もっ
と、みんなで支え合うような仕組みづくり
が、日本の中にあるなら、そんなふうに思わ
なくてすむし、そういう子たちは、進学先も
なかなか難しいので、どうしても孤立してし
まいがち。

一人ひとりが違った個性を持っていて、違
った考えを持っていて、いいと思う。それが、
どんな道であったとしても、それは、親御さん
の考えだったり、本人の考えだったり、とい
う中で成り立っていることだから。

■ 藍里が思うこと



大事なのは仕組みづくり

私が高校に入るとき、先生たちは体制の面です
ごく不安がっていました。自分でトイレに行くことが
できないという点が、一番不安だったようです。そ
こが、介助員さんさえいてくれば安心ということ
が分かったと、大丈夫だから受け入れられました。

在学中に、障害のある後輩が、私に続いて2名
ほど入学しました。

課題だと思うのは、私のように重度障害がある
と、制度はできているが、仕組みづくりが整って
いないということから、受け入れを懸念されたり
するような現状があります。学力社会の中なので、
身体障害だけではなく、知的に障害があると、勉
強することが難しいので、なかなか受け入れても
られないという現状があります。

新生活がスタート

語学が好きで、英語系の学校を目指していまし
たが、前例がないからと第1志望は不合格。4年
間の高校での成績の積み上げが実り、また高校の
先生の働きかけもあって、第2志
望の椋山女学園大学日進キャンパ
スの人間関係学部人間関係学科に
合格しました。



私は日常生活を送るにあたり、多く
の支援が必要なため、福祉サービスを利用しなが
ら多くのヘルパーと生活の時間を過ごしてきました。
そのような生活の中で、人間関係は私にとっ
てとても難しく、今まで直面してきた課題でした。
私がこの大学を選んだのは、大学で多角的に人間
関係を学び、自分が成長したいと思ったからです。
またこの学部は、福祉に共通する学部学科である
ことも魅力でした。

大学は合格しましたが、自宅を出るところから大
学内の生活全般、そして大学を下校して自宅に帰
るまでのところに、介助者を1人必ずつけることの条
件付きです。「学校の中のことに限っては、ノート
テイクは学校でやるが、トイレ、食事介助は、介助
者をお願いしてください」と言われています。

食事は、「のどに詰まって事故に繋がるといけない」と言われていますが、友達ができれば、私からがつつ頼んでいこうと思っています。学内支援は移動支援※で対応します。ヘルパーがどれだけ集まるか…。ひとり暮らしも含めて、今一番気になっていることです。

※厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部

「平成30年度障害保健福祉部予算案の概要」より

（12）重度訪問介護利用者の大学等の修学支援

【新規】地域生活支援事業等（493億円）の内数重度訪問介護の利用者が大学等に修学するに当たって必要な身体介護等を、大学等における支援体制が構築されるまでの間において提供する。

自分は、大学に受かって入学をするわけですが、やはり、いくら制度で大学内支援が整ったといっ

ても、中身の仕組み作りができていないので、整った状態で始められるかということ、そうではありません。高校の時もそうでしたが、今までやったことがないことを、受け入れ側が挑戦するということはとても不安があるため、その不安を解消していかなければなりません。自らの行動や姿勢で周囲を魅了していくことが必要になってきます。その行動こそが共生の場を開く鍵になります。ヘルパーの人手不足も深刻。その体制も整うか問題。

ヘルパーの悩みはつきませんが、生活の全てが初めてだから、やりたいことはいっぱいあります。ヘルパーや大学でできた友達と、家から離れたところへ遠出したり、料理もしたいです。サークルは、ひとり暮らしに慣れてから。夏ぐらいまでは大変かな。



重訪訪問介護の講座を受けてヘルパー資格を取得して、私の大学内支援とひとり暮らしのサポートをしてくれる人を大募集しています！

興味のある方は、福祉情報誌の窓口にご連絡をお願いします。ご連絡お待ちしております。





あした天気になあれ

～とにかくどちらもよく見える!?～

なんとかと煙は高いところに上りたがるとか。そんなこと大きなお世話です。高いところは見晴らしがいいし気分もいい。ひとときでも時間の経つことを忘れてしまいます。でも確かにノー天気になっていくのは味気ないことですね。少しでも知っていることがあれば見る目も違ってきます。



まずは、一宮市の 138 タワーパークにあるツインアーチ 138。もちろん「いちのみや」の語呂合わせですが、高さも 138m。白い 2 本のアーチが特徴で、見通しのよい場所なら名古屋市からでも見つけることができます。ということは、ここに上れば濃尾平野全体を北側から見渡せるということです。展望階は 100m の高さです。

見下ろすと北側に滔々（とうとう）と木曽川。観覧車がすぐ近くに見つかります。「アクア・トトぎふ」のある、東海北陸道の川島パーキングエリアです。

そして南側。桜並木の堤防道路が東西に続いています。ん？ここで前の文を読み返してみたくありませんか。タワーの「北側」に木曽川。堤防道路は「南側」。さてこのタワー、どこに建っているのでしょうか。

この堤防は江戸時代になったばかりの頃、徳川家康が造らせたもののなのです。当時の木曽川は、もっと川幅が広くて氾濫も多かったのです。そこで、堤防を

造りました。堤防の呼び名は、「御囲堤（おかこいつつみ）」。

堤防なのに「囲い」とは？もちろん徳川家の領地である、尾張の国を囲むのです。タワーの南に広がる広大な濃尾平野。これで尾張の農業生産は安定しました。



じゃあ囲われなかった外側は？美濃の国も、造らないわけにはいきません。しかし暗黙の圧力で、3尺低く造ることを余儀なくされたのでした。片側だけが 1m 低いのですから、結果は明らかです。明治になるまで、水害に悩まされました。

この場所は国営木曽三川公園なのですが、これがとても広い。伊勢湾まで点在しています。ですから、カーナビですと「138 タワーパーク」などで見つけるか、公園の住所で見つけるかということになります。

一宮市光明寺字浦崎 21-3

それではもう一カ所、「治水タワー」にも上りましょう。場所は国営木曽三川公園！ほらね、広いんです。公式には木曽三川公園センター「水と緑の館・展望タワー」というようです。こちらは 65mの展望室なのですが、西側から濃尾平野をどーんと見渡せるスポットです。展望室には、狭いですがガラスの床の部分があり、65mの真下が見下ろせます。スリルは感じないかな。



ハーフマラソンのコースでもある御囲堤を走る。

前に紹介した「御囲堤」の後も、下流では木曽・長良・揖斐の3つの川が入り乱れて流れ、洪水に悩まされ続けました。江戸中期、幕府は外様大名の薩摩藩にこの地の治水を命じました。藩の財政を弱らせる目的ですよ。左岸は尾張藩、右岸は桑名藩。どちらも徳川・松平です。

タワーから南の方を見ると、細長〜い松の堤防が続いていますね。この「千本松原」は薩摩の武士たちが植えたものが起源になっています。とんでもない大工事を余儀なくされた薩摩藩は、財政難

を招き、工事完成後、責任者の家老平田朝負（ひらたゆきえ）は切腹しました。それでも、まだ技術的に十分な分流はできませんでした。

さらに明治になって、オランダから招いたヨハネス・デ・レーケの指導によって、現在のような完全な分流となりました。日によっては、よく見ると狭い堤防の両側で、水面の高さが違うことに気づきます。



さらにさらに昭和になって、薩摩の偉業に感謝して「治水神社」が建立されました。タワーのすぐ南の森の中です。令和の今も慰霊祭が行われ、鹿児島との交流が続いています。神社を囲む石の柵（玉垣）にある、寄進された方々の名前を見ていくと、発見があるかもしれません。

タワーは国立公園ですから、多目的トイレは整備されています。

岐阜県海津市海津町油島 255-3

※新型コロナウイルス感染により、状況が変わる場合があります。

（軽タクサンダル）



インフルエンザ、じゃなかった！

堤 剋喜



夜中に目を覚ます。寒気から暑さに変わってくる。流感だと思ふ。総合感冒薬と解熱剤にもなる鎮痛剤、それと念のため、抗生物質の錠剤を探す。(その頃はまだ、風邪に対しても割と簡単に抗生物質が処方されていたけれど、ウイルスには無効と知っていたし、効き目を実感できなくて飲まなかった。総合感冒薬よりもたくさん残っていた)夜間救急や休日診療所に行くよりは、週明けまで寝ていよう。

今は医者に行く元気もない。というわけで、三日寝たら、平熱まで下がった。定期受診の時に事後報告。

「インフルエンザの検査やってみてく？」

「今やっても遅いと思うけど」

「熱が出たのは五日前か。たしかに。タミフルはもう効かないから、わざわざ

検査する必要もないね」

その二日目の夜。前と同じような熱が出た。二つの型のインフルエンザが流行っているそうだから、待合で拾ったかな。今度のは、おなかにくるような。幸か不幸か、前回と同じ対処で熱は治まった。二度あることは…繰り返すうちに、抗生物質の点滴を受けても熱が下がりがりなくなつた。抗生物質は僕が期待したほどではないにせよ、効くことは効いているらしいから、腹の中で細菌が暴れている感じだ。その旨を医師に伝えたが、「そうかもしれないね」だけで、検査の指示は出さなかつた。けれど、取りあえず熱のほうの問題で、腹痛はさほどなかつた。

そうこうするうちに、インフルエンザの流行期どころか、四月も終わりがけていた。半ば熱に浮かされたまま、別

のクリニックへ。医師への礼儀として、普通は自分から先に予想している病名を言うことは控える。診断するのは医師の仕事なのだから、患者は困っていることを伝えればいい。ただし、このときは禁則を破つた。

「先生、これって盲腸ですか？」

「うん。それも有り得る。だから、外科の先生の判断を仰ぎたい。五階にあるF外科に連絡しておくから、すぐに行ってください」。電話のやりとりが漏れてくる。

「外科的な緊急性がなければ、こちらで対処する」で、通話が終わった。今日この内科クリニックに戻されることはないなと思つた。

「紹介状を書きますから、入院のできる大きな病院に行ってください。どこかご都合のよい総合病院は？」。自宅近くのカルテが残つていそうな病院名を伝えようと、外科医の顔が曇る。

「あそここの麻酔科はちよつと。私の大学の知り合いがいるから、こちらに行ってください。大至急です！」。一日で三軒目。たらい回しではなく、高速ベルトコンベアに乗せられた鯉。当日、午後八時に手術開始。麻酔科の担当医師との顔合わせの後、二時間ほど「手術

室が空く順番」を待つていた。虫垂炎にしては、かなりやっかいな部類だったそう。

術後、『退院が六月号の原稿に間に合うかな』と心配できる程度に回復した頃、隣のベッドのテレビから「新型インフルエンザ(豚インフルエンザ)日本上陸」のニュースが流れてきた。居合わせた看護師が一番怖がつていた。職務上、当然の反応。

「出不精は大病の元」かもしれないし、「医者選びも寿命のうち」だ。早く適切な医師にかかれれば、手術は避けられたろう。開腹手術は機能面も含む体力を奪う。

不謹慎ながら、中学の春休みが一月になったら、僕ならきつと喜んだろう。人間関係がリセットされるから、いじめ対策になる場合もあると思う。学校が不意に休みになることよりも、学校が急に再開される方に危うさを感じる。毎年八月末に耳にする子供の自殺を報じるニュースが、年度初めに流れていないことを祈る。避けることが可能な死を避けることは、個人にとつても、社会にとつても、基本的な責務。

三月初旬、亡父の誕生日に記す。

旅の空から

皆さん、新年度を、気持ちも新たにスタートなさった方も多いと思います。春になると、お出かけの機会も増えてきますが、気を付けなくてはならないことが一つ。このシーズンは紫外線が強いため、日焼けに充分注意が必要です。薄曇りの日でも、肌にはしっかり日焼けの跡が・・・



さて今回は、西オーストラリアのパス情報の第2弾です。大都市に変貌を遂げたパスですが、ビジネスや観光でこの街を訪れる人も増えました。

ホテルも増えて、最近になって、リッツ・カールトンという高級ホテルも開業しています。

◆ 今回のアクセス

今回は、セントレアからシンガポール航空での出発でした。所要時間は、6時間30分。シンガポールで3時間の乗り換え時間があり、20ドル分のクーポン券をサービスカウンターでもらい、お店で買い物が楽しめました。残念ながらレストランでの利用はできませんが、乗り換え時間として、トイレや買い物、少しの飛行機ウォッチング時間として、ちょうどよい時間です。

シンガポールからパスまでは、4時間ほどの飛行時間なので、長時間飛行が苦手な方にお勧めです。

◆ クラウンプラザホテル

前回の ALS 国際会議と違い、今回はプライベート旅行なので、クラウンプラザホテルを利用しました。バス停も近く環境の良い場所です。



クラウンプラザホテル

広々としたラングレイ公園が目の前にあり、この場所は昔の空港だったとのこと。芝生の広場がとてつもなく続き、広大な土地をそのまま残して芝生の広場とするところは、さすがオーストラリアだと感じました。日本なら、高層ビルをどんどん建てて、土地の有効利用を考えるでしょうね。

朝はカモメがたくさんいて、ホテルの朝食で食べきれなかったパンをばら撒くと、人を怖がることもなく寄ってきます。

◆ 夕食

前回の記事でお知らせしましたが、土日はお休みするレストランや商店が多いので、夕食をどうするか迷いましたが、スマホで「近くの中華料理

レストラン」と音声入力したら、すぐに徒歩5分のレストランが表示されました。店の情報を見ると、土日営業とのこと。日曜の夜8時でしたが、すぐに出かけました。

チャーハンや酢豚のような料理を注文して、2人で20ドルなり。(1オーストラリアドル≒80円) 物価の高いオーストラリアで、とても安く済みました。

翌日は月曜日でしたので、ロットネスト島への現地オプションツアーから戻り、クルーズが帰着するブラックキーという港で下船したあと、係員にバスでホテルへ送ってもらわなくても、「ここで離団します」と伝えて、近くのスーパーへ行きました。

平日は夜遅くまでスーパーが営業しているので、お土産の TimTam (ティムタム) を20個ほど購入し、「重い！」リュックに詰め込んでから、レストランを探しました。



オーストラリア土産の定番 TimTam (ティムタム)。

ほどなく韓国料理の店があり、セット料理で2人分90ドル→50ドルという看板を見つけ、入りました。4種類の焼肉とサラダ、チゲスープ、ご飯、キムチ類が提供され、大満足。オーストラリアらしく量が多いので、最後は少し残しました。

◆ 現地オプションツアー 2日目

今回の旅は観光が目的でしたので、2日目はピナクルズという、奇岩が立ち並ぶ場所を目的とするツアーを、インターネットで申込んでおきました。



ロブスターランチ。サラダもポテトもロブスターもかなりのボリュームで満腹。飲み物付き。

ホテルへの送迎もあり、オーストラリア固有の動物たちを集めた動物園や、海沿いでのロブスターランチ、真っ白な砂丘で

の砂滑りも含まれた、盛りだくさんのツアーで、カンカン照りの中、暑い思いをしながら観光しました。

ピナクルズにはちゃんとスロープがあります。お手洗いは駐車場に身障者用トイレも整備されてい

ます。暑ければビジターセンターに入って涼みます。



奇岩が立ち並び
ピナクルズ



ピナクルズのスロープ

動物園では、カンガルーやワラビーたちに餌を与える楽しい体験ができました。餌は無料で好きなだけ。

茶色の大地に奇岩が立ち並びピナクルズは、風化によって徐々に崩れているようで、この先無くなってしまふかもしれません。



カンガルーと仲良しになれるのはとても楽しい体験。

◆ 砂滑り



ホワイトサンドを
巡る4WDバス

砂滑りは、4WDの特別バスに乗り換えて、砂丘の中をジェットコースターのように急斜面を昇ったり下ったり、車内ではワーワーキャーキャーと大騒ぎです。真っ白な砂の急斜面を昇ったり下ったりで

体が浮く体験の連続。

砂は粒子がとても細かいので、サンドボードを使って、砂の上をソリのように滑ります。雪のようにひっくり返っても痛くないので、思いきりはしゃぎました。歩いて昇るのがちょっと疲れます。

ボードやゴーグルも無料貸し出し。靴に細かい砂が入り込んでその後が大変。砂だらけになってパンパンとはたいて、近くのガソリンスタンドのトイレを借り、顔や手を洗いました。

しかしホテルに戻ってからも、ズボンのポケットやスニーカーの中に、砂が残っていました。軽くシャワーを浴びて着替えてから、ホテルの外まで衣服やスニーカーを持ち出し、パンパン、バザバザとしっかり砂を落としました。

ところが帰国してからも、スニーカーをどれかはたいても細かい砂が出てくるので、内ソールを剥がして掃除機で吸い取ってやっとスッキリ…。

サンダルを履いて参加すればよかったと、反省しました。毒蛇に足をかまれると危険だと思い、スニーカーで参加したのですが、よく考えたら、



急斜面をサンドボード
を使って滑りおりる。

そんな危険なところにツアーが案内するわけありませんね。この時ほど、自分のバカさ加減に呆れたことはありませんでした。

◆ 現地オプションツアー 3日目

3日目は、ロットネスト島で「クオッカ」と呼ばれる、小さな動物に遭えるツアーに参加しました。



ロットネスト島への
クルーズ船。

こちらのツアーも、ホテル送迎が付いているので、安心でした。ホテルから約10分で、バラックキーという港に到着して、すぐ観光船に乗りました。朝いちばんの船では、コーヒーや紅茶の無料サービスがありました。

もちろん車いすご利用の方も、参加が可能です。

車いすご利用の方が乗船の場合はスタッフがスロープを用意して最優先で案内します。

気温が35度ほどになるので、島内でサイクリングかバスかを選び、バスで案内してもらえツアーに申し込みました。港を出てから、1時間ほど静かな川を下り、フリーマントルへ。ここから乗船する人のため、5分ほど停泊し、海に出ます。

日本人ガイドさんから、「船酔いが心配な方は、薬を」と案内されましたが、そんな心配は全くありませんでした。高速船なので、気持ちよくクルーズして、30分ほどでロットネスト島へ到着。



岩の上に富士山型の
オスプレー（みさご）
の巣を発見。

簡単な島の案内を受けて、バスに乗り。あとは日本語で観光案内を聞きながら、島の美しい風景を楽しみました。島のあちこちに小さな湖があり、その日によってピンク色だったり緑色だったり、不思議な変化が見られるそうです。

途中にオスプレー（日本語名「みさご」）の巣と、その姿を見ることができました。オスプレーは、子育ての巣を新しく作らずに、以前の巣を修理して、そのまま使うそうです。海岸の岩の上に、富士山みたいな巣が見られました。

◆ クオッカ

そしてバスは元の場所に戻り、昼食タイム。木々の下や建物の横に、クオッカが休んでいます。思わず写真をとったら、「嫌というほど、見ら



スタッフがス
ロープを用意。

れますからね」と、ガイドさんの声が。

先に食事をしてから自由時間があるので、それからということにしました。野生のクオッカには、餌を与えてはいけない規則になっていますが、何も持っていなくても、クオッカから寄ってきてくれるので、撮影するには困りませんでした。人を怖がらないので足元にのそのそやって来ます。大型のネズミほどの子どもから、チワワくらいの大人のクオッカが、あちらこちらにいますので、顔がほころんできました。



ロットネスト島に住むクオッカ。

かなり前まで、オーストラリアには多く生息していたのですが、人間を恐れないので食糧として捕獲され、今ではロットネスト島で保護されているクオッカだけになってしまったそうです。

普段、のそのそと歩いて移動しますが、カンガルーのように、ぴょんぴょん跳ねることもあります。

◆ フリータイム

食後は4時間ほどのフリータイムがありますので、ショッピングをしたり、木陰で昼寝したりしましたが、透き通る海を見ていて、水着を持ってこなかったことを後悔しました。でも日差しが強烈で、泳いだら真っ黒に日焼けしていたでしょうね。海水に浸かったあとサラリとしていてシャワーが必要ないとのことでした。



ロットネスト島の美しい海。



クオッカのぬいぐるみ

お土産のクオッカのぬいぐるみは、スーパーですらりと並べられて販売されていましたが、シッポと足がビニール製で、なんだか気持ち悪く、買うのをためらいました。

ビジターセンターで、トイレを借りたときに売店を覗いたら、シッポも足も布製の可愛いぬいぐるみを発見。多少値段が高いですが、即購入。こちらは、ビニールの足の中国製とは違い、メイドインオーストラリアでした。この子は、我が家のFAX電話機の上に座って、愛想を振りまいています。

今回は観光だけの目的でパースに来ましたが、現地のオプションツアーは、決して安いものではありませんでした。日本円で、15,000円から17,000円ほど必要でした。

しかしその分、お値打ちな夕食レストランを見つけましたので、滞在中の食事は安く済みました。お土産のTimTam(ティムタム)のチョコレートビスケットは、スーパーで、11個入りで2.5ドル(日本円約200円)、はっさくミカンほどある巨大マンゴーが、3.9ドル(約312円)で購入でき、ホテルの部屋で、満腹になるまで食べられました。

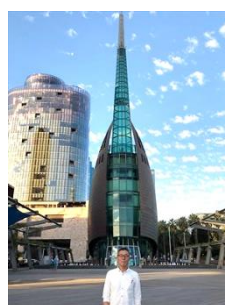
◆ 耳より情報！

今回の旅では、耳よりな情報を得ました。市内を走る公共バスは、地図に乗っているエリアは、すべて無料とのことでした。無料のバス路線が表示されていて、観光客も安心して乗車できます。

ホテルでもらえる地図には、車いす対応のトイレマークも記載されていますので、移動にはとても安心と感じました。もちろんすべて低床スロープバスなので、車いすご利用の方も乗車できます。個人旅行をなさる方には、とてもありがたいシステムですね。



ホテルで無料配布のパス地図。車いすで利用可能なお手洗也表示。



クルーズ船が発着するブラックキーと呼ばれるエリア。

街の中には、オーストラリアで一番古い造幣局もあり、見学も可能です。またクルーズが発着するブラックキーは、再開発されて、お洒落なレストランやカフェ、さまざまな商店があり、安心して楽しめます。もう少しゆっくりして、街の中を探検したくなりました。今後、パースは、観光で訪れる人が、もっと増えてくることでしょう。

※ 今回の情報は、2月1日～6日に出かけた情報です。コロナウィルスが世界中に拡散し、航空会社の減便、運休が続いていますので、ご了承下さい。

一日も早く終息することを願っております。

次回は、パースの帰りに立ち寄った、シンガポールの最新事情をお伝えする予定です。



松本 泰守(まつもと やすもり)

チケットラベル ハートTOハート

★新型コロナウイルスの影響

このお知らせが皆様のお手元に届くころには、収まっていることを祈って！

出かけられないとなると、出かけたくなるもの…
落ち着いたら、是非お出かけください。

★新緑の季節！ドラマの舞台・岐阜へ！

ようきてく
くんさったなも！ ～ 岐阜の伝統と歴史の町2日間
～ 中津川・馬籠&恵那、
美濃、関 ～



5月出発予定！ 岐阜県美濃地方は、近年のドラマの舞台。乗り降り楽々♪ リフトつきバスで、ご案内します。是非、お問い合わせください。

・中山道馬籠宿

江戸日本橋から 43 番目の宿場町。歴史的建造物として整備・復元され、旧態を保っている民家も多数。往時の面影を残しています。



馬 籠 宿

・1300 年の伝統 / 美濃和紙

繊細で丈夫な美濃和紙は、奈良時代には写経用の紙として使われました。美濃和紙を紹介する会館で、職人が使う本物の道具と天然の原料を使った紙すき体験をしていただきます。

また、毎年秋の夜に開催される「美濃和紙あかりアート展」が、いつでも見られるミュージアムへ。夜のうだつの町並みに、ほのかなあかりが浮かび上がります。



紙すき体験

・伝統 / 関の刃物

「折れず、曲がらず、よく切れる」。戦国時代には武将の間で愛用され、無類の切れ味を発揮したといわれています。

独特の鍛刀法は、卓越した伝統技能として今に受け継がれ、今や関は世界でも有数の刃物の産地として有名です。

＊ ＊ ご家族で、お友達と、

出かけませんか ＊ ＊

★エアアジアで、飛行機の旅



「Now Everyone Can Fly」

～飛行機にチャレンジしませんか？～

エアアジアは、9年連続で Sky Tracks 社「ワールド・ベスト・ローコスト・エアライン」を受賞。アジア最大級のローコストキャリア（LCC）です。

「Now Everyone Can Fly」 今まで飛行機に乗れなかった人にも乗ってもらおう！ という、エアアジアのスローガンです。

■申し込み・問い合わせ■

株式会社 チケットラベルセンター

TEL：052-222-7611 FAX：052-212-2778

【月～金 10:00～18:00 土・日・祝祭日は休業】

メールアドレス：heart@tictravel.co.jp

〒460-0003 名古屋市中区錦 1-20-19 名神ビル6F

観光庁長官登録旅行業第 735 号・JATA 正会員



旅サポート事業推進室

皆さん、こんにちは！

突然ですが、今回は当社の紹介をさせていただきますと思います。

旅サポート室では、ご高齢の方や、ご障害のある方の旅行を、主に取り扱っています。元々は、2009年からの県の委託事業として始まり、約3年間行いました。委託終了後、名鉄観光として全国展開し、有料のサービスとして引き継いだ事業です。

主に、「付添の方がいれば、外出できるのに！」というお客様に、ヘルパーを手配することで外出をしていただきます。また普段、介護を依頼しており、ご家族と外出される際にヘルパーを利用していただくことで、ご家族、ご本人様の介護面での負担を軽減し、楽しんでいただけるお手伝いをさせていただいております。

外出先のバリアフリーを手配する等、福祉施設での外出レクリエーションのお手伝いも行っております。

映画館など、「ちょっとした外出」から「旅行」に関してまで、どうぞお気軽にご連絡ください♪



【エレベーターの「車いす専用操作盤」】

皆さんは、エレベーターを利用する際、低めに設置されている、「車いす専用操作盤」を利用されたことがありますか？普段利用することは、ほとんどないかと思います。

実は、ボタンの位置が低いだけではないのです。「車いす専用操作盤」についてご紹介します。



車いす専用操作盤

① 戸の開放時間が延長される
一般的な戸の開放時間が3～5秒であることに比べ長く、10秒程度です。また、戸が動くスピードも、ゆっくりになっています。

② 鏡付きのエレベーター

車いすの方は、前方から乗込み、方向を変えることなく、降車することがあります。その際に、鏡を使って背面を確認しながら、降車します。エレベーターの鏡には、身だしなみや空間を広く見せるためだけではなく、安全上の理由もあったのです。

いかがでしたでしょうか？これ以外にも、エレベーター内に手すりや設置されていたり、ボタンに点字表示がされていたりもします。

今回のエレベーターのボタンの違いを理解して、車いすの方だけではなく、お子様連れのベビーカーを利用している方や、乗降に時間がかかる時など、状況に応じて、車いす専用操作盤を利用してみるのもいいかもしれませんね。

旅サポーターと一緒にでかけましょう♪

【富士芝桜まつり（山梨県/富士河口湖町）】

富士山麓の広大な敷地に咲き誇る、富士山を彩る花の祭典です。首都圏最大級約80万株の芝桜の鮮やかな色のコントラストが楽しめます♪

■会場：富士本栖湖リゾート

■期間：4月18日(土)～5月31日(日)

■開園時間：8:00～17:00

■入園料：

おとな(中学生以上)800円/こども(3歳以上)250円

※障害者手帳を持参で、

おとな550円、こども230円

(付添いの方は所定料金)

■バリアフリー

多目的トイレ：4か所あり（公衆と併設）

■まつり情報

「富士山うまいものフェスタ」を会場内の飲食・物販エリアにて開催。

※写真はイメージです

■その他

・駐車場：有料（普通車500円後払い）

・所要時間：約60分～90分

■アクセス

・車//富士IC、新富士ICから約50分

※ 本栖湖畔ではありません。

※ カーナビ利用の場合、「富士本栖湖リゾート」と入力し、「本栖ハイランド」と表示されればOK。

※ シャトルバス＜芝桜ライナー＞/

河口湖駅→富士芝桜まつり会場(要予約)



※ モデルプランについて ※

まずはお気軽にお問合せください♪

◎宿泊プランのご相談も、承っております。

◎モデルコース以外にも、オーダーメイドで、旅行プランのご相談も可能です。

◎ご希望により、バスや電車の切符、介護タクシー、ヘルパー資格を持った旅サポーターの手配、ご自宅や最寄り駅等、出発場所の指定も可能です。

◎バリアフリーに配慮した行程で、車いすの方、ご家族、ご友人など、1名様からご相談をお受けいたします。

名鉄観光サービス株式会社

旅サポート事業推進室

TEL (052)582-2164

e-mail: tabisupport@mwt.co.jp

(受付時間: 9:00～18:00 土・日・祝日は休業)

〒450-8577 名古屋市中村区名駅南2-14-19

住友生命名古屋ビル8F 田中

観光庁長官登録旅行業第55号 日本旅行業協会正会員

こちらからも伺う旅行会社「トラベルパレット」

～ ご案内に先立ち 桜井よりひとこと ～

このご案内をご覧いただく頃にはコロナが落ち着き、またご旅行・お出かけを楽しみに、やりとりさせていただけるようになっていきますよう、心から切に願ってやみません。

暑い頃、寒い頃でも、やりとりだけは楽しくさせていだけてまいりました。またそんな時が必ず訪れると信じて、精進してまいります。

～ 癒されます♪

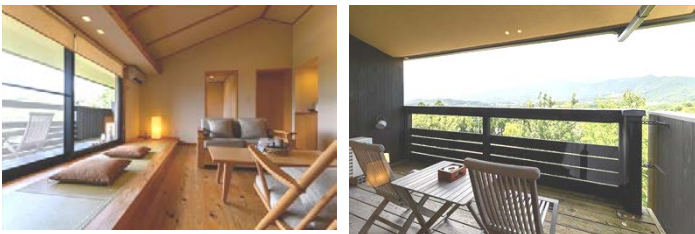
お薦めの宿 ご紹介 ～

【世界遺産リゾート里創人～熊野倶楽部～】

「さて、一息つきましょか」、そんな言葉が思わず出てきそうなお宿です。自然のリズムに体をゆだね、身も心もストレスフリーになりましょ♪♪

(お伺いした際、ちょうど車椅子のお母様と娘さん、二人旅でお見えでした。)

■全室スイートです！もちろんバリアフリールームもございます♪



※客室はそれぞれタイプがあるので客室一例

■美食オールインクルーシブです♪

・夕食時フリースタイル

・「里山 Bar」なので…ちょっと嗜む方には夕食も Bar もたまりません～是非お早めにチェックインなさって、ごゆっくりと過ごしてくださいませ。



・フロントでのコーヒー、柑橘しぼりたてジュース、すべてリラックスできること請け合いです♪

料金等、交渉ご相談可能です。

★自家用車で、名古屋から意外と行かれます！

南紀フリー切符等活用で、「JR熊野市駅」送迎もごさいます。



今回は誠に残念ですが、お知らせができません。ご覧いただくころには、5月？、6月？の旅くらぶご案内が進んでいますようかどうかどうか(祈)...

お問合せください。よろしくお願いいたします。

【次回 ご案内予告】

下見してまいりました！お勧め行程を、ご紹介申し上げます。どうぞご期待くださいませ。

※ 行程管理添乗1日 15,000円

■申し込み・問合せ■

こちらからも伺う旅行業 「トラベルパレット」

〔担当〕桜井恵子

〒464-0841 名古屋市千種区覚王山通9-18

覚王山センタービル1階

TEL: 052 (753) 7545

FAX: 052 (308) 3802

Email: sakurai@t-palette.jp

(株)日本旅行提携店

愛知県知事登録旅行業 第3-1214号

ホームページ <http://www.t-palette.jp>

トラベルパレット便り <http://blog.t-palette.jp/>

10:00～18:30 水・日祝：休み

(訪問等で不在の場合がございます。ご予約優先にて承ります。当日でもご連絡いただけると有り難いです。)

※・°・'★。・※・°・'☆♪※・°・'★。・※・°・

Instagramはじめてみました。たまに見てみてくださいませ♪

https://instagram.com/travel_palette?utm_source=ig_profile_share&igshid=149r4e3iikqac

福祉用具のリサイクル情報（20/4/8 現在）

欲しいもの、不要なものはありませんか？
リサイクルの輪を広げよう！

なごや福祉用具プラザで、福祉用具のリサイクル品の
コーディネートと福祉用具の販売、自立生活情報の提供などを行っています。

譲りますよ！ *金額のないものは無料です。

★移動用品

- ・段差解消機
(スマートリフト S120 ハナオカ) ￥要相談 3 年使用
- ・ロフストランドクラッチ (UD-310 イウラ) 不明

★入浴用品

- ・浴槽手すり
(高さ調節付 UST-130W アロン化成) 2ヶ月使用

★トイレ用品

- ・ポータブルトイレ
(家具調トイレセレクト R ノーマル ソフト便座 アロン化成) 2ヶ月使用
- ・家具調トイレセレクトノーマル アロン化成) 3 年使用
- ・FX-CP ちびくまくん アロン化成) 1 回使用

★その他

- ・クッションマット
(マルチマットムニュー エー・エム・プロダクト) ￥5,000 未使用
- ・転落防止帯セット 数回使用
- ・お風呂用スノコ (51×112 cmが2枚) 1ヶ月使用
- ・光触媒滅菌布 (バスタオル、ハンドタオル) 展示品
- ・ソックスエイド (アビリティーズ) 展示品
- ・靴 (23 cm、L×2 足、24.5 cm) 展示品

★洗浄消毒、点検整備済中古車いす・歩行車★

- ・介助式車いす
(NEXT-21B 松永製作所) ￥39,800

※なお、各種中古商品の販売も行なっておりますので、
ご要望等ございましたら、お問い合わせ下さい。

譲って欲しい！

★ベッド、床周り品

- ・3モーターベッド
- ・体圧分散マット
- ・エアーマット
- ・ロホマット
- ・体位変換マット

★移動用品

- ・手動車いす
- ・座幅 45 cmの車いす
- ・介助用車いす
- ・リクライニング車いす
- ・子供用車いす
- ・バギー
- ・簡易電動車いす
- ・JW1 のバッテリー
- ・歩行器 (馬蹄型)
- ・歩行車
- ・つるべー
- ・床走行式リフト
- ・介護リフト用シート
- ・段差解消機 (屋外用)

★入浴用品

- ・入浴用車いす
- ・安楽キャリーBタイプ
- ・入浴用チェア
- ・入浴用リフト
- ・浴槽台
- ・浴槽手すり
- ・バスボード
- ・バスリフト

★その他

- ・スロープ (折りたたみ) 1.5M、2M、3M
- ・車いす用座位保持ベルト
- ・座位保持用クッション
- ・スカットクリーン (女性用)
- ・紙おむつ

「譲って」欲しい方、「譲りたい！」という方、
ぜひご連絡下さい。

＜福祉用具についての問い合わせ＞

なごや福祉用具普及協議会代表事業者

(株)メディケア リサイクル相談事業部

TEL 052-851-0059 FAX 052-851-0159

【休業日】月曜日、祝休日、年末年始

(月曜日が祝休日の場合、火曜日も休み)

読者のこえ

164 号を読みました。

名古屋市 Sさん

164 号での「タイ訪問記」と「ザ・難聴対策！」を、オモシロク拝読しました。筆者の障害名が可能な範囲で記してあると不自由さが伝わり、障害者に対する理解が深まる？

>>>> 購読ありがとうございます。読者の皆さまには、楽しくてわかりやすい文章を書くことを心がけています。これからも、いろいろな体験や情報を伝えられたらいいと思います。

(編集委員一同)

いろいろ情報

今秋からどうなる！？ 新幹線が使いやすくなるかもよ！

国土交通省は、東京オリンピック・パラリンピックをきっかけに、新幹線のバリアフリー対策を抜本的に見直すため、検討を行ってきました。

3月3日、中間とりまとめが公表され、新幹線の新たなバリアフリー対策の基本方針が出されました。JR 各社とは既に基本合意され、今夏をめどに席数や導入時期を決め、省令やガイドラインを改正する方針とのことです。

<基本方針>概要

- ① 障害のある方がグループで快適に乗車できるよう「車椅子用フリースペース」（仮称）※1を一般客室の窓際に設ける 等

※1：車椅子用フリースペース（仮称）の要件

- ① 車椅子に乗ったままでも車窓が楽しめるよう窓際に面していること
- ② 車椅子が通路にはみ出ることなく通路の通行を阻害しないこと
- ③ 大型の車椅子の方もグループで利用可能であること
- ④ 車椅子使用者の移乗用席、介助者用席、同伴者席が近くに配置されていること

- ② これまで電話や窓口での申し込みが必要であった車椅子対応座席※2について、ウェブでも対応可能とするとともに、当日には一般の方にも販売していた車椅子対応座席を当日でも車椅子使用者に確保する 等

※2：車椅子スペースに隣接し、車椅子使用者が当該スペースを利用する際に予約する座席

名古屋駅の新エレベーター情報 桜通線からゲートウォークに エレベーターで行けるようになりました

このたび、3月13日に東山線中改札口から地上、3月24日には桜通線東改札口から東山線中改札口に、それぞれエレベーターが設置され、稼働を始めました。

詳細については、名古屋市交通局ホームページ、もしくは交通局にお問い合わせください。

まーくん：桜通線から、ゲートウォーク（旧テルミナ）に行くエレベーターができて近くなり、とてもうれしいです。でも、もっと早く設置して欲しかったね…。

名城線に可動式ホーム柵ができる！

線路上への転落事故や列車との接触事故を未然に防止し、より安心して地下鉄を利用できるよう、名城線・名港線全駅に可動式ホーム柵の整備が進められています。

可動式ホーム柵の稼働予定日については、以下とおりです。

稼動予定日	駅 名
令和2年 5月25日	名古屋港
6月	築地口、港区役所、東海通、六番町、日比野
7月	金山、東別院、上前津
8月	矢場町、栄
9月	久屋大通、市役所、名城公園、黒川
10月	志賀本通、平安通、大曽根
11月	ナゴヤドーム前矢田、砂田橋、茶屋ヶ坂、自由ヶ丘
12月	本山、名古屋大学、八事日赤、八事
令和3年 1月	総合リハビリセンター（2番線）、瑞穂運動場東（2番線）
2月	総合リハビリセンター（1番線）、瑞穂運動場東（1番線）、新瑞橋、妙音通、堀田
3月	伝馬町、神宮西、西高蔵

詳細については、名古屋市交通局ホームページ、もしくは交通局にお問い合わせください。

コロナ対策で引きこもり中です。 自宅で映画を見よう！特集

こんにちは。映画大好きなまーくんです。

コロナウィルスのせいで、なかなか人が集まる所に行きづらい毎日が続いています。また上映予定だった映画の延期が続いています…



そのおかげで、自宅で映画を見ることが増えてきました。地デジだけでなく、BSやスカパー！やインターネット環境を使った動画配信サービスなども使っています。ブルーレイソフトも購入・レンタルしています。近くにレンタル店もありますが、バリアフリー設備がない所が多いため、行くのも大変です。

また、ネットからでもレンタルすることができて、郵送できます。

たくさん観た中で、感動したり面白かったり燃えた映画をピックアップします。

【おおかみこどもの雨と雪】

「時をかける少女」「サマーウォーズ」の細田守監督が、「母と子」をテーマに描くオリジナル

のアニメ映画。人間と狼の2つの顔をもつ「おおかみこども」の姉弟を、女手ひとつで育て上げていく人間の女性・花の13年間の物語を描きます。

長男・雨が成長し、「おおかみ」として自立し、母から離れていくシーンが泣けました…

製作年：2012年 製作国：日本

配給：東宝 上映時間：117分

【聲の形】

元ガキ大将の主人公と聴覚障害があるヒロインの切ない青春を描いた大今良時のコミックがアニメ映画化されました。主人公の少年が転校生の少女とのある出来事を機に孤立していく小学生時代、そして高校生になった彼らの再会を映し出します。

観ていて小学生の頃を思い出して、切なすぎて泣けました。さらにモデルが、僕が通っていた大垣市のとある母校だった事はびっくりしましたが、「なるほど～景色と雰囲気がよく似てる～」と思いながら観ていました。

製作年：2016年 製作国：日本

配給：松竹 上映時間：129分

【風立ちぬ】

宮崎駿監督が「崖の上のポニョ」（2008）以来5年ぶりに手がけた長編作です。ゼロ戦設計者として知られる堀越二郎と、同時代に生きた文学者・堀辰雄の人生をモデルに生み出された主人公の青年技師・二郎が、関東大震災や経済不況に見舞われ、やがて戦争へと突入していく1920年代という時代にいかに生きたか、その半生を描きます。

二郎の妻の菜穂子が去っていくシーンに泣けました。

製作年：2013年 製作国：日本

配給：東宝 上映時間：126分

【STAND BY ME ドラえもん】

藤子・F・不二雄生誕80周年を記念して製作された「ドラえもん」シリーズ初の3DCGアニメーションとして公開されました。原作から厳選されたエピソードを再構成し、ドラえもんとのび太の出会いから別れまでを描きます。

「さよならドラえもん」と「のび太の結婚前夜」をコラボしていて、見入ってしまいました。別れのシーンには泣けました。

延期になりましたが、パート2が控えています。

製作年：2014 年 製作国：日本

配給：東宝 上映時間：95 分

【この世界の片隅に】

戦時中の広島県呉市を舞台に、ある一家に嫁いだ少女が戦争の激しくなる中で懸命に生きていこうとする姿を追い掛けるアニメ映画です。

一家の主婦となったすすさんの奮闘する姿とマイペースさが良かったです。現在、別バージョンが公開されています。また、テレビドラマにもなっています。こちらも観てもいいと思います。

今や平和ぼけになりつつありますが、戦争があった事と被爆国である事を忘れないようにするため、是非観て欲しい映画であります。

製作年：2016 年 製作国：日本

配給：東京テアトル 上映時間：126 分

【アンドリューNDR114】

ロビン・ウィリアムズ主演のヒューマン・ドラマ。人間になりたいアンドロイドのアンドリューが 200 年にわたって人間の心を育ててゆく過程を、心温まる描写で綴っていきます。

200 年をまたいで、とある女性を思うアンドリューの姿に泣けました。

製作年：1999 年 製作国：アメリカ

配給：ソニーピクチャーズエンタテインメント 上映時間：131 分

【ぼくのワンダフルライフ ／ワンダフルジャーニー】

W・ブルース・キャメロンのベストセラー小説を実写映画化し、飼い主の少年と再び巡り会うため生まれ変わりを繰り返す犬の奮闘を描いたドラマです。

飼い主と生まれ変わる犬の再会そして、その後も生まれ変わりがながら孫娘を守っていく健気な犬の姿に泣けました。

製作年：2017／2019 年 製作国：アメリカ

配給：東宝東和 上映時間：100 分／109 分

【フォレスト・ガンプ／一期一会】

頭は少し弱いが、誰にも負けない俊足と清らかな心をもった男フォレスト・ガンプの数奇な人生を、アメリカ現代史と重ねて描き出していくヒューマンドラマです。

トム・ハンクス映画の中で 1 番最高です。ガンプの生き方がすごいと思いました。

製作年：1994 年 製作国：アメリカ

配給：UIP 上映時間：144 分

【アルマゲドン】

小惑星の接近で滅亡の危機に瀕した地球を救うべく宇宙に旅立つ男たちの死闘を描いたヒューマン・アドベンチャー。

父と娘の最後の会話、そして別れのシーンの背景にぴったりの音響が流れていて、泣けました。

製作年：1998 年 製作国：アメリカ

配給：プエナ・ビスタ・インターナショナル・ジャパン 上映時間：150 分

【レオン】

舞台はニューヨーク。家族を殺され、隣室に住む殺し屋レオンのもとに転がり込んだ 12 才の少女マチルダは、家族を殺した相手への復讐を決心します。そしてレオンとマチルダとの間に奇妙な感情が芽生え、微笑ましかったです。マチルダのためにレオンが戦い、散っていたシーンに泣けました。

製作年：1994 年 製作国：アメリカ・フランス合作

配給：日本ヘラルド映画 上映時間：110 分

【涙そうそう】

日本中で愛されている名曲「涙そうそう」をモチーフに、「いま、会いにゆきます」の土井裕泰監督が手掛けた感動ドラマ。沖縄で生まれ育った血のつながらない兄妹が織りなす、切ない愛の物語を描きます。

製作年：2006 年 製作国：日本

配給：東宝 上映時間：118 分

【ジョゼと虎と魚たち】

田辺聖子の同名原作小説を実写映画化されました。足の不自由な女の子ジョゼと、平凡な大学生の青年の出会いから別れまでを妻夫木聡と池脇千鶴が演じています。

また今夏にアニメ映画化されます。

製作年：2003 年 製作国：日本

配給：アスミック・エース 上映時間：116 分

車いすに乗ったまま「行きたい！」をかなえる



介護タクシー ところ

でんわ 090-9184-5515

名古屋市千種区新池町2-22-8

tel/fax 052-782-3172

そらいろ工房 一級建築士事務所

「バリアフリー住宅」にこだわる設計事務所です。
車いす利用者の方のより良い住まいを一緒に考えます。

受賞歴

わが家のリフォームコンクール最優秀賞
あたたかな住空間デザインコンペ最優秀賞
ハウスアダプテーションコンクール佳作
愛知まちなみ建築賞



お相
気談
軽は
に無
ど料
うで
ぞす

〒466-0012
名古屋市昭和区小桜町3-11
TEL: 052-741-2907
FAX: 052-741-2760
そらいろ工房 井上義英

編集後記

いつも『福祉情報誌』をご購読いただき、誠にありがとうございます。

本誌は、障害者が自立して生活するために参考となる情報を載せることを編集のテーマにしており、毎年、年度始めの号は、東海3県の特別支援学校にもお送りしています。

ところで、昨年末に発生し、流行している新型コロナウイルスによる肺炎は、もはや、世界中で猛威を振るっています。しかし、それに対し、言われない誹謗中傷、^{ひぼうちゆうしょう}或いは差別する意見があり、それらに与しないよう気を付けたいものです。

また本誌は、イベントの参加体験記、法律や制度の情報、トラベルやグルメなどのいろいろ情報、読み物もあります。

そして、読者の皆様からいただく声も大切にしております。ご意見やご要望をどしどしお寄せください。できる限りお応えします。

(ナベ)

編集委員 大募集!!

あなたも編集委員に
なりませんか?!

福祉情報誌は創刊から27年。以来ずっと…

当事者の視点を大切に、当事者自らの体験や、
当事者自身が取材して、編集・発行してきました。

あなたも編集委員になりませんか。

編集会議は月1~2回。電子メール投稿も可能。

お気軽に、
編集部までご連絡ください。



◆編集部◆(わだちコンピュータハウス内)

TEL:052-841-9888 FAX:052-841-3788

E-mail: f-joho@aju-cil.com

ご連絡、お待ちしております!!

やさしい住まいの支援ネット

障害当事者、福祉、医療、建築関係者が有志で開設し、住宅の改造などの相談に対応。

《相談日》5月16日

6月6日、20日（要予約）

いずれも土曜日、午後1時半から
事前にご連絡下さい

《費用》無料



《受付》

やさしい住まいの支援ネットのホームページ

URL <http://sumai-sien.com>

TEL/FAX 052-879-5551 担当：鈴木

E-mail: sumai-sien@freeml.com

《場所》名古屋市昭和区恵方町 2-15
（社福）AJU 自立の家サマリアハウス内

お知らせ

『福祉情報誌』をご購読いただきありがとうございます。
ございます。

昨今の新型コロナウイルス感染拡大防止措置等により、166号（6月20日号）以降の発行が、大幅に遅延する可能性が出てまいりました。

ご迷惑をお掛けし誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

これからも『福祉情報誌』をよろしくお願い申し上げます。

敬具



名古屋市昭和区下構町 1-3-3

わだちコンピュータハウス

福祉情報誌発行委員会

TEL 052-841-9888

FAX 052-841-3788

福祉情報誌オンラインショップ

AJU福祉情報誌オンラインショップを開設しました。あなたの家まで年間購読や最新各号のバックナンバーを郵送するだけでなく、インターネットからダウンロード販売も行えるようになりました。

お支払方法は次の2つです。

① 銀行振込（ゆうちょ銀行）

② 郵便振替

※カード決済（PayPal）は、終了とさせていただきます。

問い合わせ先：

AJU福祉情報誌発行委員会（担当：水谷）

URL: <http://fjoho.cart.fc2.com/>

TEL: 052-841-9888

FAX: 052-841-3788

福祉情報誌オンラインショップ

検索

※年間購読でダウンロード版をご希望の方は、編集部までご連絡ください。

E-mail: f-joho@aju-cil.com



情報募集中！

障害福祉制度への意見、町で見つけたアクセシブルな穴場、あれ？ちょっとおかしいな？と思う車いすトイレの造り、親切なお店、グルメなお店、みんなに聞いて欲しい事件などなど、皆さんからの情報をお待ちしています。

ぜひぜひ、編集部までご連絡下さい



■編集部

TEL 052-841-9888

FAX 052-841-3788

E-mail f-joho@aju-cil.com

お待ちしております

年間購読料 1,500円

隔月発行

振込先（郵便局にて振込）

加入者名：福祉情報誌発行委員会

口座番号：00890-0-90573

お問い合わせ・購読中止のご連絡は、こちらまで

TEL: 052-841-9888

FAX: 052-841-3788

E-mail: f-joho@aju-cil.com